

本会の支援により2社の 地域資源活用事業計画が認定! ～菊地合板木工株式会社・株式会社浅利佐助商店～

9月29日、本会が中小企業応援センター事業として支援を行っている菊地合板木工株式会社（代表取締役菊地成一氏、五城目町）と株式会社浅利佐助商店（代表取締役社長浅利滋氏、鹿角市）の地域資源活用事業計画が、東北経済産業局の認定を受けました。

本県では、9番目及び10番目の認定となります。両社の認定計画の概要等について、ご紹介します。

■菊地合板木工株式会社

認定事業名：「欧州のライフスタイルに合わせた障子スクリーン等の家具・インテリアの開発と販路開拓」

○事業着手の経緯

平成19年に県の経営改革総合支援事業（フェニックスプラン）の認証を受け、欧州向け障子スクリーンの試作品の開発と海外展示会への出品により、マーケットの反応やニーズの把握に努めてきました。そうした中、昨年1月のパリを初めとした、モスクワ、ニューヨークでの展示会への出展で、主な課題として次の3点が浮き彫りとなりました。

1. ライフスタイルにマッチしたプロダクトアウトの発想からマーケットインの発想が必要
2. 色に対する感性の違いから、白木の枠や障子紙の白が受け入れられなかった。
3. 手仕事の技が生きているオリジナリティが高い障子紙に興味を持つ人が多い。

この課題を解決するために、本事業を活用し、新たな商品開発と販路開拓を図ることにしました。



菊地合板木工（株）
菊地成一社長

○事業の主な取り組み内容

今後5年間で、次の取り組みを実施する計画となっています。

1. 現地のライフスタイルに合わせた商品企画の立案・地元デザイナー活用による商品企画の実施
2. 「障子スクリーン」を始めとし、照明と障子を組み合わせた「家具」「天井板」「壁面材」「間仕切り材」等の家具・インテリア商品の開発・生産・販売



障子スクリーン

■株式会社浅利佐助商店

認定事業名：「比内地鶏がらを最大限まで有効活用した新製法高濃度スープ等の開発とそれを活用した新商品の販路開拓」

○事業着手の経緯

スープの原料である「比内地鶏」が平成21年度から減産傾向にあり、当社で必要な量を確保することが非常に困難な状況でした。そこで、製造量を維持するために、新たな製法の実現に取り組んできた結果、これまでの製法では限界であった濃度を高める製法の実現に成功しました。

この製法をさらに事業化するために、本事業を活用し、新商品の開発と販路開拓を図ることにしました。

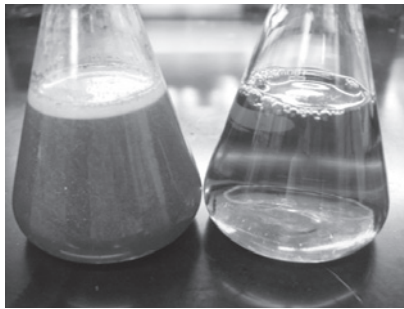


(株)浅利佐助商店
浅利滋社長

○事業の主な取り組み内容

今後4年間で、次の取り組みを実施する計画となっています。

1. 高濃度スープの生産・販売
2. 高濃度スープを活用した新商品等の開発・販売
3. 業務用販路開拓



開発に成功した高濃度スープ



(株)浅利佐助商店 開発メンバーの皆さん

.....

本会では、認定企業2社に対し、昨年度の「地域力連携拠点事業」及び今年度の「中小企業応援センター事業」を活用し、支援を行ってきました。国の計画認定を受けた事は、あくまでもスタートラインに立った事にしか過ぎないことから、計画の実行による企業活力の向上に対し、さらなる支援を行うことにしております。

新たな事業計画等をお考えの経営者の皆様、是非、本会にご相談ください。本会の「強い組合 強い企業づくり」のビジョン達成のために、より多くの企業からのご相談をお待ちしております！

中小企業応援センター事業をご活用ください！

～ご相談・専門家派遣は無料です～

「中小企業応援センター事業」では、組合及び組合員企業を中心に、県内中小企業の経営課題を解決するための支援を行っています。

具体的には、中小企業者の皆様のご相談に応じて、本会コーディネーターが経営上の課題の把握、戦略の立案等をお手伝いし、必要に応じて専門家を派遣します。

お手伝いする内容は、地域資源を活かした新商品・新サービスの開発や販売、新たな事業活動による経営革新、農商工連携による新商品・新サービスの開発などのほか、どのようなご相談にも応じておりますので、是非ご利用ください！

<ご相談・お問い合わせ先> 本会 工業振興課 TEL 018-863-8701 FAX 018-865-1009